

早稲田大学 スポーツ科学部 小論文 講評

出題形式	指示型
試験時間	90分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

出題内容	コメント	難易度
「退屈の意味」について論じる	2020年以來の「グラフなどの資料が一切無い指示型」の問題である。また書き出しの指定や自らの立場の明示などの具体的な指示が一切無いので、小論文としての構成を自分なりにしっかり組み立ててから書き出すことが望まれる。「退屈」というと、一般的にはマイナスの意味で使用されることが多いが、そこにどのような付加価値を自分なりにつけていくかがポイントとなる。「意味を説明しなさい」ではなく、「意味を論じなさい」なので、言葉の一般的な意味に対して自分がどう思うのか、なぜそう思うのかを論理的に説明していく必要がある。	標準

〔総合コメント〕

スポーツ科学部の小論文の大きな特徴として、「少ない情報や指示を元に、自ら考えて論を組み立てていく」というものが挙げられる。これは指示型であっても資料型であっても変わらない。その際に大事なことは「設問の要求に添った解答を心がける」とことと「しっかり論拠を明確にした論理的な文章を心がける」ことである。また学部の性質も踏まえ、その論理的な文章の中でスポーツに対する自分の認識を組み込めればさらに良い。これらを考えずに無計画に書き出すと、途中で文章が行き詰まって最終的には支離滅裂な解答を書き上げることにもなってしまうかねない。指示内容が少ない文章こそ、その指示を踏まえてしっかりと構成や内容を組み立ててから書き出した方が良い。